

最近の機械貿易動向(8月)～機械輸出は2ヶ月連続の減少～

日本機械輸出組合 2012.10.18

8月の機械輸出額は、3兆2,680億円、対前年同月比3.0%減と2ヶ月連続で減少した(7月7.5%減)。これは、域内経済が低迷しているEU向け、及び成長鈍化の中国向けが2ケタの大幅減となったこと、機械輸出額の31%を占める自動車の伸びが1.6%増とさらに鈍化したこと、18%の産業機械が9.3%減と大幅な減少が続いていることなどによる。

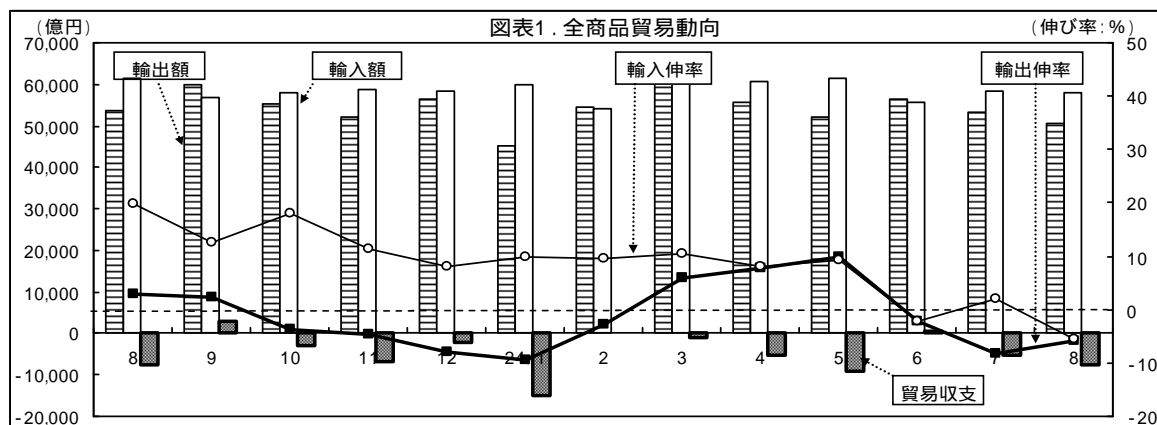
9月については、超円高が続いたが対ドルでは前年に比べやや円安となり、他方、営業日は1日少なく、為替・営業日は4.8%のマイナス要因となる。9月の機械輸出額は、仮に8月の実質的伸び(2.1%減)が続くとすれば、前年比約7%の減少となる。因みに9月上中旬の全商品輸出額は10%減である。

1. 全商品貿易動向～輸出は3ヶ月連続でマイナス、貿易収支は2ヶ月連続で貿易赤字～

1)平成24年8月の全商品輸出額は5兆453億円、前年同月比(以下同じ)5.8%減と3ヶ月連続の減少となった(7月8.1%減)。これは、全輸出額の20%を占める電算機等一般機械(5.1%減)、14%の鉄鋼等原料別製品(5.7%減)、21%の輸送用機器(2.2%減)等が減少したことによる。

2)輸入額は5兆8,012億円、前年同月比5.4%減と2ヶ月ぶりにマイナスに転じた(7月2.1%増)。これは、全輸入額の33%を占める原粗油等鉱物性燃料(6.3%減)、8%の非鉄金属等原料別製品(15.2%減)、7%の鉄鉱石等原料品(16.4%減)等が減少したためである。他方、輸送用機器は22.3%増となった。

3)この結果、輸入額はマイナスに転じたものの輸出の落ち込みの方が大きかったことから、8月の貿易収支は7,559億円と前月より赤字幅を拡大させ2ヶ月連続の貿易赤字となった。

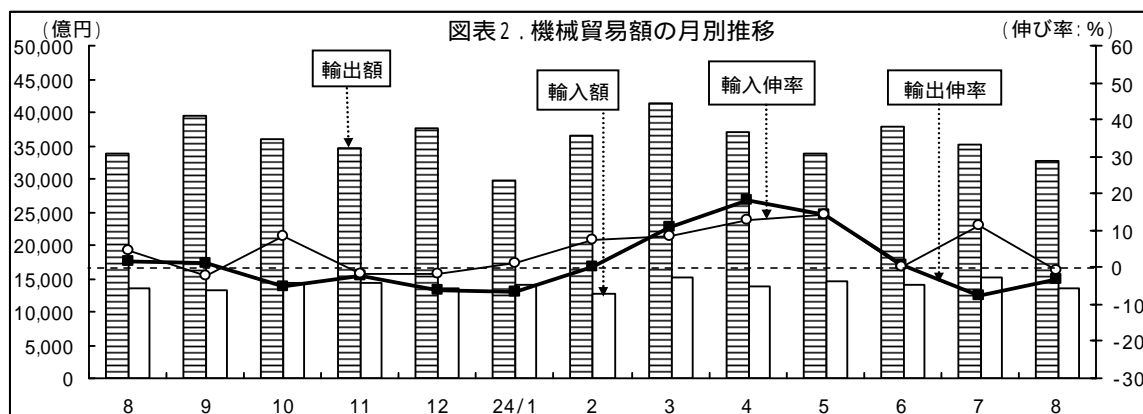


2. 機械貿易動向

(1) 機械輸出入動向～機械輸出は2ヶ月連続減少、輸入は8ヶ月ぶりマイナスへ～

1)全商品輸出額の約65%を占める8月の機械輸出額は3兆2,680億円、3.0%減と2ヶ月連続で減少となった(7月7.5%減)。輸出額の水準は、リーマンショック前(平成20年8月)と比べると、72%と前月より2ポイントと上昇した(7月70%)。

2)一方、全商品輸入額の約23%を占める機械輸入額は、1兆3,494億円、0.9%減と8ヶ月ぶりに減少へ転じた(7月11.4%増)。輸入額の水準は、リーマンショック以前の87.1%と前月より約4ポイント後退した(7月91.4%)。

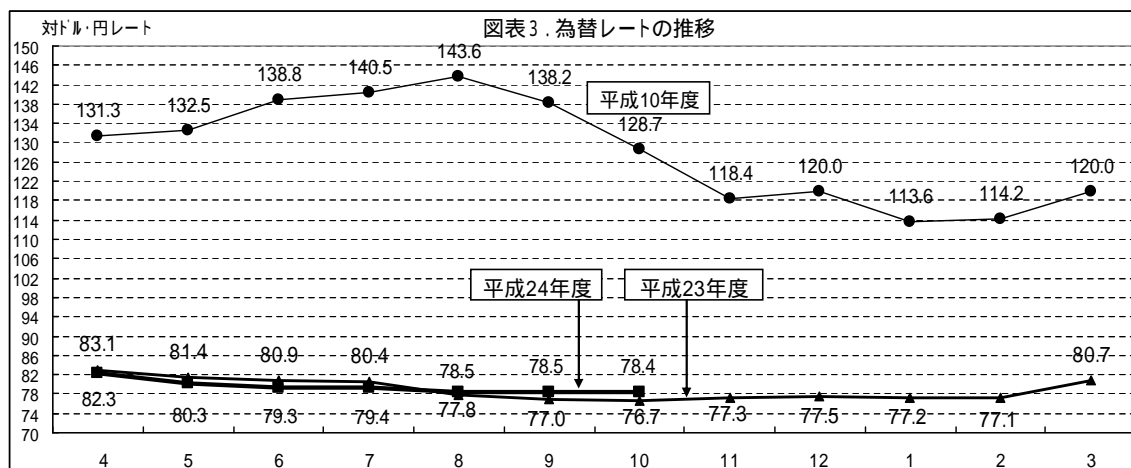


(2) 為替動向・営業日～8月は為替・営業日要因は0.9%の減少、9月は4.8%の減少要因～

1) 8月は1ドル＝78.5円と欧州信用不安で円高は高進したが、前年がそれを上回っているため、0.9%の円安となった。また、対ユーロでは96.4円と過去最大の円高となり、前年に対し13.3%の円高となり、合わせて0.9%の僅かな減少要因となった。営業日は同じなので、合計0.9%の減少要因となった。8月の輸出額は3%減であったことから、実質的伸び率は2.1%減と小幅な縮小となった(7月10.5%減)。

2) 9月は1ドル＝78.5円と超円高水準で横這いとなったが、前年がそれを上回っているため、2%の円安となった。また、対ユーロでは99円と円高がやや是正され、前年に対し8.3%の円高となり、合わせて0.2%の僅かな増加要因となった。営業日は1日少ないので5%減、合計4.8%の減少要因となる。

3) 10月は、対ドルが現状の78.4円とすれば、前年が超円高であったので逆に2.2%の円安となり、また、対ユーロが101.4円とすれば2.5%の円高となり、合わせると0.9%の僅かな為替増加要因となる。他方、営業日は2日多いので10%の増加要因となり、合計10.9%の増加要因となる。



(3) 地域別動向～EUは域内経済低迷から大幅減、中国向も内需不振で二桁減続く～

1) 機械輸出が減少した地域的要因は、機械輸出額の10%を占めるEU向けで、域内経済の低迷から、輸出額の30%を占める自動車(28.0%減)、18%を占める産業機械(15.9%減)、電子デバイス(30.3%減)工作機械(35.3%減)等が減少し、22.9%減と大幅なマイナスとなったこと、約18%を占める中国向けでは、輸出額の18%を占める半導体製造装置等産業機械(15.6%減)、15%を占める自動車(12.9%減)、建設機械(59.7%減)等が大幅に減少し、11.5%減のマイナスとなったこと、また、29%と最大輸出先のNIES/ASEAN向けが、シンガポール、韓国が2ケタの大幅減となり、業種では、半導体製造装置、重電気機械、自動車、船舶、光学機械、建設機械等がマイナスとなり、0.9%減となったこと、約20%を占めるその他地域向けでは、アフリカ(15.9%減)が2ケタ減となった他、中近東(4.8%減)、中南米(1.3%減)がマイナスとなり、機種では、全体の14%を占める船舶(8.4%減)、建設機械(6%減)等がマイナスとなり0.4%減の減少となったこと等、による。

2) 他方、機械輸出額の約23%を占める北米向けは、輸出額の48%を占める自動車(10.1%増)が2ケタ増を維持したほか、全体の14%を占める産業機械(19.5%増)、建設機械(55.8%増)、工作機械(28.3%増)重電気機械(27.7%増)等の大幅増が寄与し、13.4%増と2ヶ月ぶりに2ケタ増となった。

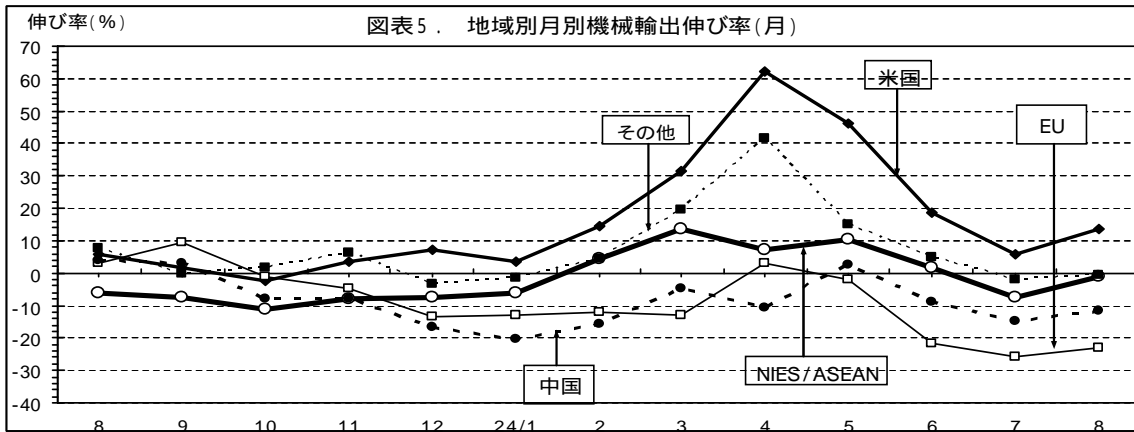
3) また、リーマンショック前の平成20年8月の地域別輸出額と比較すると、水準を超えたのは皆無で、中国と北米が80%台、NIES/ASEANは70%台、その他の地域は60%台、EUは40%台であった。

図表4. 最近の地域別機械輸出動向

(単位: 億円)

	2012/6			2012/7			2012/8			対08年 8月比
	金額	伸び率	シェア	金額	伸び率	シェア	金額	伸び率	シェア	
全世界計	37,819	0.5	100	35,170	7.5	102	32,680	3.0	100	0.72
北米	8,433	18.7	22.3	7,977	5.9	22.7	7,477	13.4	22.9	0.87
EU	3,776	21.7	10.0	3,594	25.9	10.2	3,354	22.9	10.3	0.47
NIES/ASEAN	10,791	1.5	28.5	9,919	7.5	28.2	9,468	0.9	29.0	0.78
中国	6,451	8.9	17.1	6,247	14.6	17.8	5,866	11.5	17.9	0.89
その他	8,369	4.8	22.1	7,433	2.1	22.7	6,516	0.4	19.9	0.60

は、2ヶ月連続で前年比10%以上プラス。



図表6. NIES/ASEAN・その他地域向け機械輸出の推移(月別) (金額単位: 億円)

国名	2012/5		2012/6		2012/7		2012/8	
	金額	伸び率	金額	伸び率	金額	伸び率	金額	伸び率
韓国	1,530	7.9	1,577	20.5	1,579	17.5	1,494	19.9
台湾	1,526	6.3	1,688	9.6	1,551	12.4	1,525	1.7
香港	1,286	3.8	1,653	1.4	1,431	13.6	1,450	0.6
タイ	1,743	39.2	2,007	28.7	1,875	12.6	1,786	16.7
シンガポール	849	10.3	1,065	3.9	801	34.7	743	27.0
インドネシア	941	64.7	1,021	22.0	861	1.9	816	20.7
マレーシア	693	4.7	793	2.6	714	15.2	699	2.3
フィリピン	517	24.4	557	28.9	564	27.4	498	10.0
ベトナム	271	21.8	359	10.9	456	48.9	354	22.3
その他地域								
中南米	2,102	13.3	2,956	8.3	2,351	5.8	2,044	1.3
中近東	1,314	64.7	1,478	11.0	1,412	9.3	1,230	4.8
大洋州	1,067	30.8	1,208	7.0	1,087	11.4	1,045	16.7
ロシア東欧等	1,117	15.3	1,237	7.4	1,325	1.3	1,130	2.6
アフリカ	903	48.8	952	15.7	723	7.3	531	15.9
インド	371	9.6	402	15.2	452	7.1	419	5.1

は、2ヶ月連続で前年同月比プラス(10%以上)

(4) 業種別動向～産業機械、船舶等16業種でマイナス～

- 業種別では、全19業種中マイナスとなったのが16業種で、前月より更に1業種増加した。全体の約18%を占める産業機械(9.3%減、14ヶ月連続)、船舶(26.4%減)、通信機械(21.2%減)、電子計算機(21.9%減)、陸用内燃機(12.8%減)、繊維機械(21.8%減、13ヶ月連続)等が大幅なマイナスとなった。また、全体の31%を占める自動車が増と前月からさらに伸び率を鈍化させた。他方、2ケタ増の比較的高い伸びとなったのは工作機械(27.6%増)のみであった。
- この結果、リーマンショック前の水準を超えているのが工作機械、医療機械の2業種で、他方、電子計算機、通信機械、産業車両、民生用電子機械は、30～50%台の低い水準に留まっている。

図表7 上位19業種の輸出額の動き (単位: 億円、%)

機種名	2012/6			シI7	2012/7			シI7	2012/8			対08/8比
	金額	伸び率	シI7		機種名	金額	伸び率		シI7	機種名	金額	
自動車	12,337	10.8	32.6	自動車	11,964	2.5	34.0	自動車	10,252	1.6	31.4	0.70
産業機械	6,231	12.6	16.5	産業機械	5,790	17.8	16.5	産業機械	5,806	9.3	17.8	0.78
電子デバイス	2,824	6.5	7.5	電子デバイス	2,734	13.8	7.8	電子デバイス	2,832	3.4	8.7	0.65
船舶	2,613	19.5	6.9	船舶	1,436	15.7	4.1	船舶	1,115	26.4	3.4	0.71
軽電気機械	1,922	4.5	5.1	軽電気機械	1,836	14.5	5.2	軽電気機械	1,802	5.6	5.5	0.74
民生用電子機械	1,889	0.9	5.0	民生用電子機械	1,735	13.6	4.9	民生用電子機械	1,740	4.4	5.3	0.53
重電気機械	1,879	2.5	5.0	重電気機械	1,781	5.2	5.1	重電気機械	1,688	0.9	5.2	0.83
軽機械	1,406	12.4	3.7	軽機械	1,355	1.4	3.9	軽機械	1,277	7.9	3.9	0.75
光学機械	1,259	8.3	3.3	光学機械	1,266	12.0	3.6	光学機械	1,311	0.2	4.0	0.98
建設機械	1,240	0.1	3.3	建設機械	1,126	0.7	3.2	建設機械	945	9.7	2.9	0.67
工作機械	856	4.8	2.3	工作機械	956	9.7	2.7	工作機械	929	27.6	2.8	1.22
通信機械	430	15.2	1.1	通信機械	389	24.9	1.1	通信機械	365	21.2	1.1	0.42
電子計算機	403	17.7	1.1	電子計算機	371	20.9	1.1	電子計算機	362	21.9	1.1	0.36
ベアリング	388	8.8	1.0	ベアリング	366	13.7	1.0	ベアリング	331	7.7	1.0	0.94
陸用内燃機関	344	21.5	0.9	陸用内燃機関	313	27.7	0.9	陸用内燃機関	307	12.8	0.9	0.83
医療機械	310	5.6	0.8	医療機械	288	10.4	0.8	医療機械	270	4.7	0.8	1.08
繊維機械	153	31.6	0.4	繊維機械	145	34.1	0.4	繊維機械	136	21.8	0.4	0.84
農業機械	157	2.9	0.4	農業機械	136	15.7	0.4	農業機械	124	11.5	0.4	0.66
産業車両	120	20.9	0.3	産業車両	128	13.0	0.4	産業車両	109	12.1	0.3	0.51
19業種合計	36,761		97.2	19業種合計	34,115		97.0	19業種合計	31,701		97.0	0.72

は2ヶ月以上連続で10%以上増加、民生用電子機械: デジカ、TV、部品、電子計算機: ノソコ、HDD、プリンタ等部品。軽電気機械: 白物家電、電子計測器。軽機械: 分析器。光学機械: 光学材料、加工。

(5) 機種別動向～電子応用装置、工作機械等2ケタ増、他方、電池、エアコン等は大幅減～

1) 高い伸び率を示した機種は、韓国・台湾(4倍増)、中国(20%増)等向け電子顕微鏡等電子応用装置(58.5%増)、中国(46.1%増)、ASEAN(91.2%増)、北米等向け工作機械(27.6%増)、北米(53.5%増)、その他地域(5.4倍増)、韓国・台湾等向け発電機(26.1%増)、ASEAN(48.1%増)、北米(60.9%増)、その他地域等向け貨物自動車(18.3%増)、その他地域(97.7%増)、韓国・台湾(55.4%増)、北米等向け原動力機械(17.9%増)である。

2) 一方、最も落込み幅が大きいのが、電池(50.9%減)、エアコン(47.3%減)、録画再生機器(40.1%減)、船舶(26.4%減)、半導体製造装置(25.3%減)、産業用ロボット(23.5%減)、電子計算機(21.9%減)、繊維機械(21.8%減)、通信機器(21.2%減)、磁気カード・ディスク(13.0%減)であった。

図表8. 伸び率上位機種(月50億円以上、前年比伸び率10%以上、10機種以内) (単位:億円)

2012/6			2012/7			2012/8		
機種名	金額	伸び率	機種名	金額	伸び率	機種名	金額	伸び率
発電機	145	64.7	発電機	169	42.7	電子応用装置	58	58.5
金属加工機械	323	28.4	電子応用装置	54	21.6	工作機械	929	27.6
船舶	2,613	19.5	機種合計	223	0.6%	発電機	122	26.1
自動車部品	4,187	17.3			貨物自動車	677	18.3	
電気・電子計測器	504	15.3			原動力機械	396	17.9	
分析・試験・検査機	790	12.6			機種合計	2,182	6.7%	
貨物自動車	884	11.9						
時計	103	11.3						
機種合計	9,549	25.2%						

は、2ヶ月連続で上位機種 ・機種合計の%は輸出額に占める割合

図表9. マイナス伸び率上位機種(月3億円以上、10%減以上、10機種以内) (単位:億円)

2012/6			2012/7			2012/8		
機種名	金額	伸び率	機種名	金額	伸び率	機種名	金額	伸び率
電池	168	55.4	電池	181	54.0	電池	176	50.9
半導体製造装置	984	39.7	録画・再生機器	13	45.9	エアコン	6	47.3
繊維機械	153	31.6	半導体製造装置	911	36.0	録画・再生機器	10	40.1
原動力機械	291	23.4	繊維機械	145	34.1	船舶	1,115	26.4
陸用内燃機関	344	21.5	電子デバイス	22	31.6	半導体製造装置	982	25.3
産業車両	120	20.9	陸用内燃機関	313	27.7	産業用ロボット	81	23.5
録画・再生機器	14	16.0	TV	67	27.3	電子計算機	362	21.9
通信機器	430	15.2	通信機器	389	24.9	繊維機械	136	21.8
TV	67	14.1	原動力機械	372	19.5	通信機器	365	21.2
産業機械	6,231	12.6	風水力機械	582	17.1	磁気カード・ディスク	137	13.0
機種合計	8,802	23.3%	機種合計	2,995	8.5%	機種合計	3,233	9.2%

は、2ヶ月連続でマイナス上位10位内 *機種合計の%は機械輸出額に対する割合

(6) 機械輸入動向～電子計算機、重電気機械が減少、乗用車、携帯電話、航空機が大幅増～

1) 8月の機械輸入伸び率は0.9%減と8ヶ月ぶりに減少に転じた。その要因は、二大輸入機種である電子計算機が約8.6%減となったほか、重電気機械(9.1%減)、白物家電(10.1%減)、TV(62.8%減)が減少となったためである。他方、乗用車(22.4%増)、携帯電話(12.5%増)、航空機(78.5%増)は2ケタ増の大幅増となった。

2) なお、輸入額が輸出額を上回っている機種は、電子計算機、携帯電話、白物家電、医療機器、エアコン、TV、時計、ラジオ録画・再生機器となっている。

3) 地域別機械輸入額は、中国(7.5%減)、EU(4.4%増)、ASEAN(7.0%減)、北米(12.8%増)、韓国・台湾(7.2%増)、その他地域(6.6%増)の順となっている。

図表10. 機械輸入額上位12機種 (単位:億円、%)

2012/6				2012/7				2012/8			
機種名	金額	伸び率	シェア	機種名	金額	伸び率	シェア	機種名	金額	伸び率	シェア
電子デバイス	1,507	2.4	10.7	電子計算機	1,588	5.3	10.5	電子デバイス	1,481	6.6	11.0
電子計算機	1,504	5.0	10.6	電子デバイス	1,564	8.7	10.4	電子計算機	1,417	8.6	10.5
白物家電	763	6.5	5.4	自動車部品	872	56.8	5.8	乗用車	869	22.4	6.4
携帯電話	706	9.5	5.0	携帯電話	862	31.2	5.7	自動車部品	655	5.6	4.9
乗用車	686	24.3	4.9	乗用車	757	62.8	5.0	携帯電話	634	12.5	4.7
自動車部品	674	40.9	4.8	白物家電	695	2.9	4.6	重電気機械	619	9.1	4.6
重電気機械	656	22.5	4.6	重電気機械	676	5.1	4.5	白物家電	502	10.1	3.7
航空機	530	104.8	3.7	医療機器	512	16.7	3.4	医療機器	487	9.9	3.6
医療機器	447	9.1	3.2	航空機	407	77.7	2.7	航空機	449	78.5	3.3
光学機械	352	7.2	2.5	光学機械	390	22.9	2.6	光学機械	347	3.2	2.6
民生用電子部品	325	12.1	2.3	民生用電子部品	379	28.2	2.5	民生用電子部品	298	8.6	2.2
分析・試験・検査機	255	11.2	1.8	分析・試験・検査機	254	4.3	1.7	分析・試験・検査機	253	1.3	1.9
12機種合計	8,405		59.4	12機種合計	8,956		59.3	12機種合計	8,011		59.4

は対前年比が2ヶ月連続で10%以上増加。白物家電:民生用電気機械